

所 属	文化振興課
所属長	曾田 研之介
電 話	06-6489-6385

第8回近松賞 肥田知浩さん「宇宙に缶詰」に決定

尼崎市は、平成12年に近松賞（正式名 近松門左衛門賞）を創設しました。国内でも有数の戯曲賞として定着しているこの賞は、日本が世界に誇る劇作家・近松門左衛門の功績を顕彰するとともに、次代の演劇界を担う優れた劇作家を世に紹介し、新たな演劇作品の発掘、劇作家の育成を目的としています。尼崎市にある広済寺に近松の墓所（国指定史跡）があることから、ゆかりの深い「近松」を文化振興のシンボルと位置づけ、「近松のまち・あまがさき」をテーマにしたまちづくりに取り組んでいます。このたび、第8回近松賞が決定し、つぎのとおり表彰式を実施します。

1 被表彰者

肥田 知浩（ひだ ともひろ）さん
※プロフィールは別紙のとおり

2 受賞作

宇宙に缶詰
※あらすじは別紙のとおり

3 表彰式

日 時：1月26日（木）午後4時～午後4時30分
場 所：市役所本庁舎 特別会議室（北館2階）
出席者：被表彰者、市長、議長、両副市長など
※各選考委員コメントは表彰式当日に配布予定

4 近松賞について

応募資格は問わず、全国から現代演劇の戯曲を募集するものです。「近松賞」受賞者には、正賞と副賞100万円が贈呈され、受賞作品は尼崎市で初演されます。受賞作品は、選考委員による選評を加え冊子にして出版します。過去の選考結果は、以下のとおりです。

第1回近松賞（平成13年） 近松賞受賞作 該当なし、近松賞優秀賞 2作
第2回近松賞（平成15年） 近松賞受賞作 保戸田時子作「元禄光琳模様」
第3回近松賞（平成17年） 近松賞受賞作 該当なし、近松賞優秀賞 2作
第4回近松賞（平成20年） 近松賞受賞作 角ひろみ作「蛍の光」
第5回近松賞（平成22年） 近松賞及び優秀賞 該当なし
第6回近松賞（平成26年） 近松賞受賞作 上原裕美作「砂壁の部屋」
第7回近松賞（平成30年） 近松賞受賞作 高山さなえ作「馬留徳三郎の一日」、
審査員奨励賞 1作

5 問い合わせ先

公益財団法人尼崎市文化振興財団 事業課
TEL 06-6487-0910

第8回「近松賞」記事提供資料

(正式名 近松門左衛門賞)

受賞者 ひだ肥田 ともひろ知浩 さん (京都府京都市在住)

受賞作 宇宙に缶詰

公益財団法人尼崎市文化振興財団

事業課 TEL 06-6487-0910

目 次

■ 受賞者 肥田 知浩 プロフィール	1
■ 受賞作品 宇宙に缶詰 あらすじ	2
■ 第8回近松賞選考結果について	3
■ 第8回近松賞応募状況、審査経過	4
■ 選考委員	8

【参考】

第8回「近松賞」募集要項

第8回「近松賞」受賞者プロフィール



氏 名 肥田知浩 (ヒダトモヒロ)

作 品 名 宇宙に缶詰

生年月日 1978年1月8日生

年 齢 44歳

性 別 男性

住 所 京都府京都市

略 歴 群馬県生まれ

日本大学文理学部英文学科卒業

演 劇 歴 2004年劇団 hako「ようかん」で初めて戯曲を書き上演。

その後、4作品の戯曲を手がける。

2008年甘もの会「はだしのこどもはにわとりだ」を上演。

俳優として劇団衛星「珠光の庵」、京都芸術センター演劇計画2007「生きてるものはいないのか」などに出演。

受 賞 歴 2010年「炬燵電車」第10回AAF戯曲賞 最終候補作品

「どどめジャム」第16回劇作家協会新人戯曲賞 最終候補作品

2013年「はだしのこどもはにわとりだ」第20回OMS戯曲賞 佳作入選

2016年「わたし今めまいしたわ」第23回OMS戯曲賞 最終候補作品

「宇宙に缶詰」 概要・あらすじ

太陽系外に人間の住める星はあるのか？ 地球がすぐに住めなくなるというわけでもないが太陽にだって寿命がある、今のうちに人間の住める星を探しておいた方がいいのではないか？ NASA が探査機を開発し太陽系外惑星の調査に乗り出した。できれば人工知能ではなく人間を調査に向かわせたいところだが、しかしこの惑星探査には何十年、何百年もの時間がかかる。生きている人間を探査機に乗せるわけにはいかない。

技術は日に日に進歩して今や人間の脳みその情報を丸ごとコピーして一枚のチップに記録することも可能になっている。NASA は職員の中から優秀な者を六人選び出し、脳みそのコピーをマイクロチップに焼きつけて六つの太陽系外惑星に送り出した。日本の田舎町で生まれ育ち、アメリカに渡って NASA に就職した男がこの六人の一人に選ばれた。男の脳みそは隅々までスキャンされ、デジタル情報に変換され、探査機に積まれて惑星の調査に送り出された。男の脳みそのコピーを乗せた探査機は太陽系から遠く離れた惑星に到着し順調に調査を進め、この星が地球に似ており人間が住むことも充分可能であることを確かめると、調査で得た惑星の情報と自分自身のデータとを地球に向けてビーム送信した。

ビームに乗って地球に戻って来た男のデータはクローンの肉体に入れられて、静かに余生を送ることになっている。地球型惑星にはポツンと探査機が残る。データを地球に送信した後、探査機内に残ったデータはすべて消去されるという話だが、しかしパソコンのハードディスクと同様に一度記録されたデータを完全に消去することはほぼ不可能である。物理的に破壊しない限りマイクロチップのデータは残り続ける。探査機には電池もまだまだ残っている。探査機に残された男の脳みそのコピーは、過去に自分の人生に起こった様々なことを、ああでもないこうでもないと思いつけ続ける、という時間を延々と送るのだった。

第8回「近松賞」選考結果について

近松賞の創設

尼崎市では、市内の広濟寺（こうさいじ）に、日本が世界に誇る劇作家・近松門左衛門が眠る墓所（国指定史跡）があることから、1986年（昭和61年）市制70周年をきっかけとして「近松」を文化振興のシンボルと位置づけ、「近松のまち・あまがさき」を目指し、文化、教育、産業、環境整備のトータルなまちづくりを進めています。

「近松賞」は、本市とゆかりの深い近松の功績を顕彰するとともに、次代を担う優れた劇作家を世に紹介し、新たな演劇作品の発掘、劇作家の育成を目的として平成12年8月に創設し、平成13年度に第1回「近松賞」を実施しました。

第8回近松賞応募状況

第8回「近松賞」は令和4年5月1日から令和4年6月30日の間、募集を行い、全国24都道府県から107作品の応募がありました。8名の審査員により1次審査で24作品、続く2次審査で最終候補作品として8作品を選考しました。

最終選考結果

令和4年12月16日（金）に岩松了氏、濱田元子氏、平田オリザ氏、松岡和子氏、渡辺えり氏（50音順）の選考委員5名による選考委員会を行った結果、肥田知浩氏の「宇宙に缶詰」を近松賞に決定しました。

冊子の発行、上演

受賞作品は、選考委員の選評も掲載した冊子を2,000冊発行し、全国の演劇関係者等に配布します。また、令和7年3月までに兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター大ホール）において、第8回「近松賞」受賞作品「宇宙に缶詰」の上演を予定しています。

第8回「近松賞」応募状況、審査経過

1 応募期間

令和4年5月1日(日)～6月30日(木)まで。(当日消印有効)

- ・応募作品 107 作 (第1回 208 作、第2回 272 作、第3回 246 作、第4回 215 作、第5回 246 作、第6回 174 作、第7回 62 作、第8回 107)
- ・応募人数 105 名 (第1回 198 人、第2回 255 人、第3回 246 人、第4回 212 人、第5回 241 人、第6回 165 人、第7回 60 人、第8回 105 人)
うち1名が5作品、1名が4作品、1名が3作品、1名が2作品応募。

2 地域別応募作品数(人数) 全国24都道府県、計107作品(105人)

都道府県名	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回
北海道	3(3)		1(1)	2(2)	2(2)	3(3)	3(3)	4(4)
青森県					3(3)	1(1)	1(1)	
秋田県				1(1)				
岩手県	1(1)	1(1)	2(2)		2(2)	1(1)	1(1)	
宮城県			1(1)		1(1)	4(4)	2(2)	4(2)
山形県	1(1)		1(1)	1(1)	1(1)			1(1)
福島県		1(1)		2(1)	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)
茨城県	2(2)		2(2)	5(5)	4(4)	5(5)	2(2)	2(2)
栃木県	2(2)			1(1)	2(2)	2(2)	2(2)	
群馬県			1(1)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
埼玉県	10(10)	4(2)	12(11)	18(16)	7(7)	11(11)	16(16)	8(8)
千葉県	4(4)	5(5)	11(11)	15(15)	7(7)	8(8)	8(8)	7(7)
東京都	30(29)	22(22)	49(49)	77(75)	61(61)	74(74)	85(82)	63(63)
神奈川県	5(5)	5(5)	12(12)	22(21)	25(24)	27(26)	23(21)	19(15)
山梨県				1(1)			1(1)	1(1)
長野県	1(1)	1(1)	1(1)	6(6)	1(1)	1(1)	2(2)	1(1)
新潟県	2(2)	1(1)		2(2)	2(2)	1(1)	2(2)	3(3)
富山県				1(1)				
石川県	1(1)	1(1)	2(2)	2(2)		2(2)		
福井県			1(1)				2(1)	1(1)
岐阜県			5(5)	5(5)	3(3)	3(4)	2(2)	4(3)
静岡県	1(1)		3(3)	1(1)	4(4)	5(5)	2(2)	2(2)
愛知県	6(6)	1(1)	5(5)	7(8)	10(10)	7(7)	10(9)	3(3)
三重県			1(1)		2(2)	2(2)	2(2)	
滋賀県				2(2)		1(1)	1(1)	2(2)
京都府	4(4)	4(4)	13(10)	8(8)	13(13)	9(8)	19(13)	12(10)
大阪府	13(12)	8(8)	13(12)	16(16)	17(17)	30(30)	21(21)	29(29)
兵庫県	6(6)	3(3)	14(10)	13(13)	17(17)	19(19)	28(25)	19(18)
*尼崎市	2(2)	1(1)	8(4)	4(4)	5(5)	4(4)	3(3)	6(5)
奈良県	4(4)		4(4)	7(7)	5(5)	2(2)	7(7)	2(2)
和歌山県				2(2)			2(2)	

鳥取県		1(1)	1(1)				1(1)	
島根県							1(1)	
岡山県	2(2)		2(2)	5(5)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)
広島県			2(2)	3(3)		3(3)	5(5)	3(3)
山口県	1(1)		1(1)	1(1)	1(1)	1(1)		
香川県	1(1)		1(1)	1(1)		1(1)		2(2)
徳島県	1(1)							
愛媛県		1(1)	3(3)	2(2)	1(1)		1(1)	2(2)
福岡県	3(3)		1(1)	6(6)	5(4)	6(6)	9(8)	7(7)
佐賀県			2(2)		4(3)	1(1)		
大分県		1(1)	1(1)		1(1)	1(1)	1(1)	
長崎県	1(1)		3(3)	2(2)	3(3)	2(2)	2(2)	
熊本県				2(2)		3(3)		
鹿児島県		1(1)	1(1)	2(2)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)
沖縄県				1(1)	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)
スイス					1(1)		1(1)	1(1)
イギリス							1(1)	
フランス						3(4)		1(1)
カナダ			1(1)	1(1)				
アメリカ					1(1)	1(1)		
ロシア					1(1)			
中国 (香港)				1(1)				
インド			1(1)					
合計	107 (105)	62 (60)	174 (165)	246 (241)	215 (212)	246 (246)	272 (255)	208 (198)

3 年代・性別人数

年 代	第8回			第7回			第6回			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	不詳	合計
10代	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
20代	4	3	7	1	2	3	6	2	0	8
30代	3	2	5	8	6	14	24	11	0	35
40代	10	3	13	7	6	13	18	7	1	25
50代	9	12	21	7	11	18	21	14	0	35
60代	23	13	36	6	1	7	24	9	0	33
70代以上	19	4	23	3	1	4	18	4	0	22
不詳	0	0	0	1	0	1	4	1	1	5
合計	68	37	105	33	27	60	117	46	2	165

年代・性別人数（第1回～第5回）

年 代	第5回				第4回		
	男性	女性	不詳	合計	男性	女性	合計
10代	0	0	0	0	2	0	2
20代	13	14	2	29	17	5	22
30代	32	20	0	52	23	18	41
40代	23	21	0	44	26	18	44
50代	26	14	0	40	27	13	40
60代	30	9	0	39	28	6	34
70代以上	27	3	0	30	20	3	23
不詳	5	1	1	7	3	3	6
合計	156	82	3	241	146	66	212

年 代	第3回			第2回			第1回		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
10代	1	2	3	1	2	3	1	1	2
20代	28	17	45	35	21	56	27	19	46
30代	31	23	54	28	24	52	28	16	44
40代	31	15	46	39	30	69	30	13	43
50代	28	11	39	30	6	36	27	4	31
60代	19	6	25	16	4	20	14	6	20
70代以上	20	3	23	15	3	18	9	3	12
不詳	5	6	11	1	0	1	0	0	0
合計	163	83	246	165	90	255	136	62	198

・最年少 20歳 女性

(第1回 18歳 女性、第2回 18歳 女性、第3回 17歳 女性、第4回 17歳男性、第5回 21歳男性と女性、第6回 17歳 女性、第7回 24歳 女性、第8回 20歳 女性)

・最年長 91歳 男性

(第1回 88歳 男性、第2回 91歳 男性、第3回 84歳 男性、第4回 80歳男性と女性、第5回 88歳男性、第6回 85歳 男性、第7回 84歳 男性、第8回 91歳 男性)

4 審査経過

- | | |
|-------------------|--------------------------------------|
| (1) 令和4年7月23日(土) | 審査員8人に作品を送付 |
| (2) 令和4年9月10日(土) | 1次審査を行い24作品を選出 |
| (3) 令和4年10月15日(土) | 2次審査を行い最終候補作品8作品を選出 |
| (4) 令和4年12月16日(金) | 選考委員会を行い最終候補作品8作品の中から第8回「近松賞」受賞作品を選出 |

「近松賞」選考委員（50音順）

- 岩松 了（いわまつ りょう）
劇作家、演出家、俳優、映画監督
1952年生まれ

- 濱田 元子（はまだ もとこ）
毎日新聞論説委員兼学芸部編集委員
1965年生まれ

- 平田 オリザ（ひらた おりざ）
劇作家、演出家
1962年生まれ

- 松岡 和子（まつおか かずこ）
翻訳家、演劇評論家
1942年生まれ

- 渡辺 えり（わたなべ えり）
劇作家、演出家、女優
1955年生まれ